

## ビジーポート石垣港(その1)

2023.3.1 池田良穂

沖縄の石垣港を起点とする高速旅客船は、旺盛な観光需要の増大に伴って大型船が登場して19総トンの小型高速船の数が少なくなり、大きく様変わりしています。八重山観光フェリーの新造客船「やいま」の就航もあったので、久しぶりに石垣島を訪問しました。目的は、新造客船「やいま」に会い乗船することと、「日本の旅客船Ⅲ」に掲載できなかった「フェリーはてるま2」の写真を撮ることと、これまで見る機会がなかった西表島の中の陸の孤島と言われる船浮集落への連絡船「ふなうきまる」と会うことでした。

宿は、部屋から石垣港を眼下に見渡すことのできるホテルイーストチャイナシーに取りました。できるだけ上層階をとりクエストをしておいたので、12階の部屋を使うことができました。

まずは、部屋からの「ビジーポート石垣港」のシーンからご覧に入れます。



石垣港の離島航路の旅客船ターミナルの早朝の一枚で、まだ旅客船の第1便が出港する前の写真なので、石垣島発着の旅客船が全船揃っています。港の北側の船溜まりと、奥に離島航路のターミナルと棧橋が見えています。



石垣港の南側の船だまりで、手前が RORO 貨物船の埠頭になっており、主にダイビングボートが繋がれています。奥の一面には石垣ドリーム観光の船の係留場所が見え、その奥が波照間島の在来船の埠頭です。与那国島へのフェリーもここから出ます。



時間になると、高速旅客船が続々と出港して島々に向かいます。画面上の平らな島は竹富島です。



内航客船棧橋周辺は、出港する船や入港する船、そして港の別の係留地からシフトしてくる船で大賑わいです。



夕方の一斉に戻ってくる旅客船が壮観でした。



日没前になると客船の運航が終わり、港は静けさを取り戻します。右上の大きなカーフェリーが「フェリーよなくに」、左が「フェリーはてるま2」で、手前には石垣ドリーム観光の高速船が係留されています。